



新しい年が始まり、「今年のNISAはどうしよう」「昨年そのままでもいいのかな?」「上限額までフル活用しなければ」と、気持ち着急してしまう方もいるかもしれません。でも、大切なお金だからこそ、自分のペースで考える時間も大切です。

そこで今回は、今年のNISA計画のスタートとして「**株式市場とどう付き合うか**」という視点を整理してみたいと思います。

その視点があると、自分らしい方向性が見えてくるはずです。ぜひ最後までお付き合いください。

焦る必要はありません。
まずは視点を整理して、
自分のペースで進めま
しょう!



株式市場とどう付き合う? NISAにも役立つ3つの視点

NISAは、税制上の優遇を活かしながらかく資産を育てていくための制度です。せっかく非課税で続けられる制度だからこそ、どう商品を選んでいくかは戦略的に考えたいもの。

どんな商品を選んでも、値動きのある資産と向き合っていくことになるので、「大きく捉える」視点を持つことが大切です。さらにつみたて投資枠でも成長投資枠でも、長期的な資産形成の中心となるのは株式や株式を含む商品ですが、株式は値動きが激しい資産。一喜一憂しないためにも“**株式市場との付き合い方**”で大事な視点を3つに整理して確認してみましょう。

NISAの仕組み

NISAの仕組みをおさらいしたら、早速次のページから見ていきましょう!



対象者	日本在住の18歳以上		
口座開設	いつでも開設可能・ただし1人1金融機関		
非課税期間	無期限		
2つの枠	つみたて投資枠	併用可能	成長投資枠
対象商品	つみたて投資枠の要件を満たした投資信託	株式、投資信託等 (一定の除外条件あり)	
買付方法	積立投資のみ	一括投資、積立投資	
年間投資上限	120万円	240万円	
総枠	1,800万円(生涯投資枠) ※売却した場合は、その元本相当額が翌年から利用可能に		
		1,200万円	
売却可能期間	いつでも可能		

※資料作成時点のものであり、将来変更になる可能性があります。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

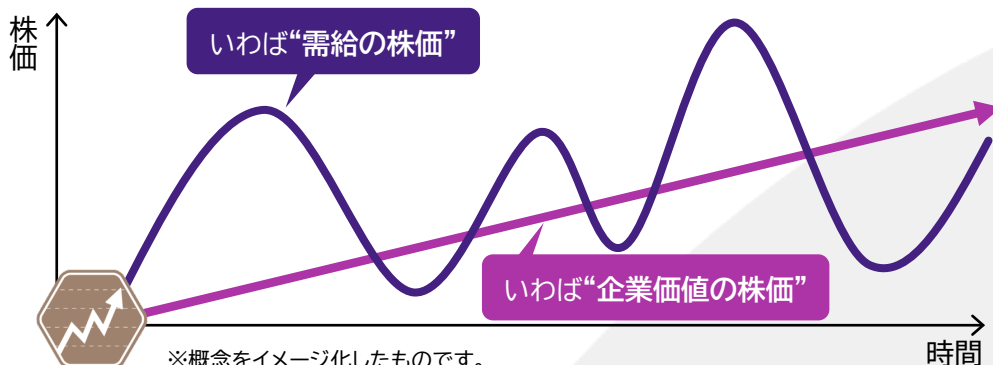
①

株価は「短期では需給」「長期では企業の価値」で動く

株価は短期ではニュースや投資家の売買の勢いといった“**需給の力**”に左右され、思わぬ上下が起こることがあります。一方で長期では、株価は企業価値に基づいて形成されていくので、“**企業の利益**”に注目することが大切になってきます。

こうした“**短期**”と“**長期**”の違いを知っておくだけで、日々の値動きに振り回されにくくなり、NISAのように長期で育てる資産運用では落ち着いて構えることができます。

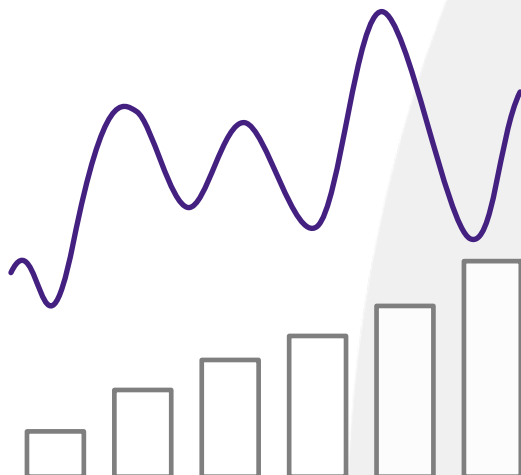
「日々の値動き」ではなく長い目で見るのが大事ですね



②

過度な期待にも悲観にも寄らない“**相場との距離感**”を持つ

ここ数年は株式市場が好調に推移してきましたが、その流れが今年も続くとは限りません。金利や為替、世界の出来事など、短期の相場は読みづらいものです。一方で、企業が時間をかけて積み上げていく利益は、長期的な株価の土台となります。過度に期待を寄せすぎたり、必要以上に悲観したりしないことが、NISAを続けるうえで大切なスタンスになります。



「企業が積み上げていく価値」を信じて、相場とはちょうどよい距離感を取りたいですね



③

インデックス投資は
“仕組み”まで意識
すると理解が深まる

NISAで投資している人も多い、S&P500指数や全世界株式指数(MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス)などに連動するインデックスファンド。「皆が持っているから」と選ばれがちですが、これらの指数は“時価総額加重”で計算されており、規模の大きな企業に影響が偏りやすい特徴があることも理解しておきましょう。こうした特徴を知っておくと、「なぜそのように動くのか」「他には何を買ったらいいか」といったことにも興味・関心が広がり、NISAでも長く続けやすい選び方につながります。

時価総額加重の
インデックス投資

エヌビディア、アップル、
マイクロソフト 等

「時価総額」の
大きさ順
で組入れ

大型・高株価銘柄の比率が
高くなる、ということは理解し
ておきたいですね



左記3銘柄は、資料作成時点の世界の企業の時価総額の上位3銘柄を説明のために例示したものであり、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

資産運用を長く続けていくために

こうした視点を持ったうえであれば、「株式にどれくらい投資するか」考えたり、「ドキドキは減らしたいからリスク控えめ」に他資産を組み合わせたりと、自分なりの戦略が見えてくるでしょう。そして、ご自身の資産運用の戦略が定まってくれば、本当に必要だと思う商品も変わり、NISAにとらわれることのない自分なりに納得感の高い選択ができるかもしれません。大切なのは、制度そのものではなく、自分なりに考え、理解したうえで選んでいるかどうかです。

資産運用を長く続けるために、ぜひお役立てください。

次のページではNISAを考えるときに
役立つアモーヴァ・アセットのリンク
集をご紹介します！



アモーヴァ・アセットのWebサイトには、資産運用に役立つコンテンツがたくさん！ぜひアクセスしてみてください。



<https://www.amova-am.com>



もっと詳しく！ NISAを活用するためのリンク集

今回の「こよみ」を読んで、NISAについてもっと深く考えたいと感じた方におすすめのコンテンツをご紹介します。

NISAを基本から解説したものをはじめ、資産運用の目標づくりやNISAの具体的な戦略立てなど、幅広く掲載しています。ぜひご活用ください。

まずはここから

NISAの仕組みと使い方を、動画やイラストベースの読み物でご紹介



●NISAをどう使う？

<https://www.amova-am.com/sp/howtonisa/>

一歩進んだ考え方を

20年後Lab.(ラボ)のコラムで、さらに理解を深めましょう



●NISAって何がいんですか？

<https://www.amova-am.com/20lab/learn/faq-column/faq-column-006>

シミュレーションに挑戦①

●資産運用の目標を決めよう



<https://www.amova-am.com/20lab/knowledge/simulation-goal>

シミュレーションに挑戦②

●NISAの具体戦略を立ててみよう



<https://www.amova-am.com/20lab/knowledge/simulation-nisa>



コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00-17:00

